

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	街ミッション
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第1学年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びと地域社会を結びつけ、現状を理解するとともに、課題解決を目指す意識を養う。</li> <li>・ 対話力や聞く力を養い、積極性や協調性等、社会人として必要な素養を身につける。</li> </ul>

**【実践内容】**

本活動は訪問を承諾してくれた地域の企業から課題をいただき、その課題を解決する方法を探り企業にプレゼンテーションするという活動である。中心的な活動の行うのは3日間で、1日目は企業訪問を行い、様々な活動を体験することでその企業についての理解を深め、課題を与えられる。2日目は学校に戻り、班員同士で課題を解決するための手法を考え、プレゼンテーションの準備を行う。3日目は再び企業を訪問し、課題解決のためのアプローチ法を提示し実践できる物があれば実践をする。その後、企業からの講評をいただき、振り返りを行う。この活動を後日プレゼンテーション資料にまとめ、学校で発表会を行う。体験したことをまとめ発表することで自己の成長を実感し自己肯定感を感じさせることができた。

**振り返り（アンケートより抜粋）**

**【生徒】**

- ・ 自分たちが今まで経験したことを活かして問題解決をすることができるということがわかった。
- ・ なかなか機会がないものを学ぶことができ、地域の問題に身近にできることからはじめようと思えることができた。
- ・ 街ミッションを通じて自分のやりたいこと、興味を持ったものを発見できた。
- ・ 事業者さんが言っていた何事にもチャレンジしてみるという言葉を受け、知らないこと、興味が無かったことにも目を向けていこうと思えるように成長した。
- ・ 林業の課題や現状を知り、もっとたくさんの人知ってもらう方法や木の活用方法を考えた。ティンバースポーツを体験し、スギハーブティーなどを初めて知った。
- ・ 初めての方や大人の方々へのコミュニケーション能力が成長したなど感じた。自ら様々な事業やイベントに興味を持ち主体性が大きくなった。
- ・ お客さんが楽しめるイベントをつくるためには自分達も楽しめるイベントをつくるのが大切であるというアドバイスをいただき、自分の中の不安が消え、「全員が楽しめる」イベントを運営したいと思えることができた。
- ・ 熱意を持って取り組み自分ができることできないことを見極めて最大限頑張った。周りの考えや思考を考え発言できるようになり、自分の考えに対する反省も行う事ができた。
- ・ 地域にこんなにも困っている人がいるのだと知り、自分ができることは何か、もし自分が同じ立場になったらどう思うかを考えることができた。街ミッションを通じて人のために何かをできることは嬉しいことだと感じ、自分の関心を広げられた。

**【企業】**

- ・ 当店の思いを話した際に真剣にメモをしている様子がみられ今後も関わっていきたいと思いました。
- ・ 大変前向きに石巻の農業について考えてくれた。
- ・ 高校生ならではの視点とアイデアをいただき、貴重な時間を過ごせました。
- ・ 生徒から自分は漠然と都会に出てバリバリのキャリアウーマンとして働くものだと思っていたけど、おばあちゃんたちとふれあったら福祉の道に進むという選択肢も増えたという話を聞き、とても嬉しくなりました。
- ・ 課題に対して積極的に取り組んでいただいたようでよかった。

## 明治の牛乳屋さん石巻

### ミッション実践・提案内容

ーミッションー  
自分たちができそうな、シニア世帯の方との交流イベントのイメージ  
ー提案内容ー  
毎月の季節行事のイベントをする  
（例）ひな祭り 豆まき ハロウィン  
レクリエーション（高齢者ができるようなゲーム）  
季節にちなんだご飯やデザートを準備する  
寒天ゼリーや餅など

### 1日目

- ・健康診断（血圧や血管年齢などの診断）
- ・復興住宅に住む高齢者の方たちと体操（椅子に座ったままできる体操や手や足を指などをほぐす体操など）
- ・ビンゴやパズルなどの卓上ゲーム

体操などを一緒にやってみて意外と難しいものがあったりした。  
ゲームも頭を使ってたのしめたのがすごく良かった。

### 2日目

事前に与えられたミッションについて自分たちで考えたイベントなどの企画や意見を事業所の人に発表するためにポスターにまとめました。

実際にやる企画を考えることはさまざまなことに考慮するので簡単ではなかったがみんなで協力して意見を出したりまとめたりしたので高齢者の方々にも楽しんでいただけるような内容を企画することができた。

### 3日目

3日目は事前に与えられたミッションで考えたことを模造紙に書いて事業所の人に発表しました。その後意見がもっと良くなるようにみんなで話し合いました。出した意見としてはシニア世代の方々はどうなことをすれば若者と楽しめるような交流ができるかなどの意見を出し、実際にイベントを行うことを想定して企画をしました。

### 実際に行うイベント

#### ひな祭り

- ・ゼリーを高齢者の方とつくる
- ・紙コップで雛人形作り
- ・カルタやビンゴなどの卓上ゲーム

### 個人振り返り

今回の街ミッションでは自分の意見を積極的に発言できた。またアイデアを考えることが苦手だと思っていたが考えがスラスラ出てきたことで苦手意識がなくなったので自分の得意なことにたくさん気づけたいい機会になった。

### 個人振り返り

- ・事前課題では気付かなかったことや考えを実際に高齢者の方と交流してみて実際高齢者の人たちはどんなことができそうかどんなことをしたら楽しいのかなど思いつくことがあったので貴重な経験だったと思いました。
- ・自分たちで企画を考えたりすることも初めてで意見を出したりすることは緊張したりしましたが実際に自分が働く前にこのような経験ができてすごく良かったと思いました。